

指定地域密着型サービス外部評価 自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

↑ 取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p> <p>住み慣れた地域の中で、その人らしく生活し続ける事ができるように職員全員で話し合い、事業所独自の理念をつくりあげている。</p>		
2	<p>○理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p> <p>職員全員で日頃からも話し合い、理念を理解・共有し唱和して実践している。</p>		
3	<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる</p> <p>ご家族や訪問して頂いた方にも見やすいように、玄関・談話室・事務室等へ掲示している。</p>	○	広報誌に理念を掲げ配布したり、家族会を定期的に行い理解をしてもらえるようにしたい。
2. 地域との支えあい			
4	<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p> <p>散歩時など笑顔で挨拶を交わし、気軽に交流が出来るように心がけている。</p>	○	散歩時には利用者と職員も地域の方に声をかけ、季節の花などを見せて頂いている。
5	<p>○地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p> <p>民生委員の方々からも協力を頂き、ボランティア活動の人の訪問が時々あり、地域の人へもチラシを配布し参加を呼びかけている。</p>	○	利用者、職員と多肥公園の「桜祭り」や近くの商店に買い物へ行っているが、機会があればこれからも地域での活動に参加して行きたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	地域の方がホームへ見学のときなども、生活の様子や認知症について理解を深めていただいている。	○	地域の方の介護相談や高齢者の相談窓口を設けて行きたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者、職員全員で実施し、意義を理解し改善点や良い点についても話し合い取り組んでいる。	○	改善項目については全員で取り組んでいく。
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	ホーム内での活動を公表し意見をいただき、利用者に満足してもらえるようなサービス向上に活かしている。		
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市主催の研修会へ参加したり、不明な点がある時は問い合わせを行いサービスの質の向上に活かしている。	○	職員全員が順次参加できると良いと思う。
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	ホーム内での研修会で取り上げ、地域福祉権利擁護事業について学び理解している。		
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員全員で話し合い虐待防止に取り組んでいる。	○	継続して勉強会でも話し合いたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制				
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時や解約をする際は、利用者や家族等に対して疑問点と共に十分な説明を行い理解を図っている。		
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者が意見等を言いやすい雰囲気をつくり、意見は記録し今後の対応や改善点を職員で話し合い改善している。		
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	月に一回家族へのお便りを送ったり、状況に応じて来訪時や電話・ファクシミリで個々にあわせた報告をしている。		
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	いつでも気軽に意見や相談が出来るように配慮し、玄関に意見箱を設置している。	○	家族会を開催し個々の意見を取り上げ反映させている。
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	全体会議やユニット会議、勉強会を開催し話し合い反映させている。		
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	家族が通院介助できない時などは、状況に合わせて勤務調整に努めている。		
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の移動に関しては、利用者に不安が生じないように配慮している。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援				
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	意欲を引き出すために、月一回の勉強会や外部の研修会へも参加している。また、職員一人ひとりがそれぞれの担当を持ち、協力し合い仕事をしている。	○	職員の研修の幅を広げたり、介護福祉士等の資格取得援助につなげたい。
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	研修会や電話等で他施設の管理者、職員と交流しサービスに反映させている。		
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	意見を言えるような雰囲気を大切にし、職員に笑顔で声かけし向上心が持てるように配慮している。	○	管理者や職員全員で話し合い、一つ一つ解決をして行きたい。
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	物事を柔軟に受け止め意見を言えるような雰囲気を作り、向上心が持てるように配慮している。	○	全員が目標を決め自己研鑽に努め、見える所に掲示している。
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入居前の見学の際に、生活観や価値観等を理解するために、傾聴・受容し認知症の状態を把握し、十分に話し合い支援している。		
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	家族の不安等に対して明確に答え、誠実に対応している。	○	家族が打ち明けやすい雰囲気や環境を整えて行きたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	利用者の状態や意向を把握し、その人らしい心豊かな暮らしが出来るように支援している。		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前にも本人・家族と見学をしてもらい、利用者の心身の状態や日常生活を理解し、家族とも相談しながら定期的に訪問をお願いしている。	○	居心地の良い環境作りに努め、家族と共にお茶を飲み気軽な気持ちで見学をして頂いている。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	いつも尊敬の心を持ち支えあい、洗濯や食事作り、散歩、買い物等を共に行い、好きな所へ出かけたり趣味を楽しんでいる。	○	利用者と共に寄り添い、利用者が役割や出来る事を見つけ豊かな暮らしが送れる様に支援している。
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	本人の様子や生活ぶりを家族に連絡や報告を行い、季節の行事にも参加して頂いている。		
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	利用者や家族の意向を尊重し、来所時や電話、お便り等で状況報告し支援している。		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族との外出や訪問、近所の公園や商店に職員と一緒に出かけている。		
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	個々の関係を把握し、レクリエーション活動や日常生活の中で交流が図れるように努めている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	他施設に入所した場合にも時々訪問している。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者本位のペースを大切にし、困難時は勉強会でも事例検討を行い改善に努めている。	○	生活のペースや思いを把握し、一人ひとりの暮らし方を尊重している。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人や家族から生活歴や生活環境を把握し、馴染みのある個々の生活を大切にしている。		
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	利用者ができる事できない事を理解し、その人らしい生活が出来るように支援している。	○	利用者から声をかけられやすいように普段からコミュニケーションをとる。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	家族の負担にならない範囲で、利用者自身が納得して過ごせるように計画を作成している。	○	全員でユニット会議やミーティングを行い実践している。
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	本人や家族、職員で話し合い、日常の様子や状況変化に対応した介護計画作成をしている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	入居者の方へのアプローチとして日常のコミュニケーションの中から①ジグソーパズル(難易度の低いもの)②ちぎり絵③ビーチボール投げ④ペットボトルのボーリング⑤カラオケ等を利用者に挑戦してもらっている。	○	①ジグソーパズルについては、医療的対応の必要性について話し合うよう努めたい。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人や家族から相談がある時は、十分に話し合い希望があれば他施設への紹介も行っている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	地域の行事に参加したり、ボランティア訪問や各機関にも協力して頂きながら支援している。	○	絵手紙のレク活動時には外部からの講師をお願いし、ボランティア訪問も定期的に予定をしている。
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	必要に応じて、情報交換や収集を時々している。		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進会議において、地域包括支援センターの担当者からの意見を頂き反映している。		
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	情報提供に努め本人、家族が希望するかかりつけ医や医療機関との医療連携を図っている。	○	まず家族に連絡をとり、家族または職員が通院介助を行っている。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	認知症についての診断や全般的な治療など相談できる専門医がいる。		
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	看護師との話し合いや申し送りを必ず行い、気軽に相談したり連絡ノートにも記録し確認し合っている。		
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	利用者が入院をした時には、家族や医療関係者などからの情報交換や相談に努めている。		
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入居時にも家族と話し合いそのつど対応し、状態変化に応じても方針を共有している。	○	看取り介護についても、家族と話し合う機会を持ちたい。
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	家族やかかりつけ医とも相談し、必要時は医療機関とも連携を図り対応している。		
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	他施設に変わる場合は、本人が安心して生活ができるように「色紙」を渡したり、家族へ最近の状況を伝えて送り出すように努めている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	尊敬し感謝の気持を持って、日々の挨拶や言葉がけを行っている。本人の人権を尊重して、個人情報の保管場所にも配慮している。	
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	利用者の思いや希望を自己決定できるように、思いやりや笑顔、優しい気持で接し、信頼関係を築くようにしている。	○ 難聴である利用者には、孤立しないように筆談などで意見や希望を聞いて支援したい。
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	体調や状況を把握しながら押し付けや強要をせず、その人らしい暮らしが出来るように支援したい。	
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	月一回の理美容サービスを利用したり、個々に外部の美容室を利用し送迎をしている利用者もいる。また、外出時は一緒に服を選んだりしている。	○ 外出や誕生日会など特別な日は、お洒落をしたり女性は化粧をする楽しみを持ってもらえるように支援する。
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	菜園で収穫をした野菜を料理し、調理準備や片付けを一緒にを行い、見た目も美味しそうに盛り付けや食器に工夫をしている。食事前には口音訓練や嚥下体操を行い、安全に楽しく食事出来るように支援している。	
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	本人が望む嗜好品などは、一緒に買い物へ行き本人が好きな物を買えるように支援している。	○ 利用者が好みを訴えられない時は、家族に聞いて好きな物を楽しむことが出来るように支援している。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	本人のプライバシーに配慮しながら、声かけトイレ誘導を行ったり表情や言動から利用者の排泄サインを観察している。		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	体調を把握し、希望により毎日入浴が出来るように実施している。入浴拒否がある利用者には、タイミングを見て声かけ入浴して頂いている。		
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	その人に合わせて、散歩や日光浴、体操、入浴など適度に身体を動かし安眠できるように支援している。また、定期的にシーツ交換や布団干しを行っている。	○	不眠の訴えがある利用者は、日中の過ごし方を見直しレク活動や気分転換などが出来るように声かけし、安眠できるように支援したい。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	散歩や外出、菜園作り、レクリエーション等を行い、それぞれに合った役割や楽しみを持ち、生き生き生活が出来るように支援している。		
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	買い物時は自由にお金を使うことが出来るように支援し、紛失や置忘れ等で管理できない方もいるので、ホームの方で個々の金銭出納帳に記入し管理している。		
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	家族や職員と、日々の生活の中で買い物、外出、散歩、ドライブへ行けるように支援している。	○	ホーム内にあるテラスを利用し、天候が良い日はゆったりお茶を飲んだり、花の水遣り、草抜き、野菜作り参加に声かけをし過ごしている。
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	家族と一緒に出かけたり行事の中でも外出をしている。	○	利用者の希望を取り入れ、家族と相談し外泊やお墓参りなど、家族と一緒に過ごせる時間を持っていただきたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人から希望があれば電話連絡ができるようにし、絵手紙も定期的に家族へ送っている。		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	家族と共に食事を居室で摂ってもらうなどして、他者に気兼ねなく過ごしてもらったり、気軽に自由な雰囲気を楽しめるように心がけている。		
(4) 安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	職員全員が認識しており、身体拘束をしないケアを実施している。		
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	居室には鍵をかけず、外出を増やし自由な暮らしが提供できるように努めている。玄関に小電力型ワイヤレスコール(報知連絡用)を取り入れ外出が分かるようにしている。		
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	日中ドアをノックしてから入室するよう配慮し、24時間の見守り、安全確認に努めている。		
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	保管場所を取り決めて危険を防ぐ取り組みをし、注意の必要な物を使用する時は見守りを行っている。		
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	誤嚥による窒息や転倒などに気をつけ、毎日事故防止の為に注意して見守りを行っている。	○	ヒヤリハットについて勉強会で検討したり、防火訓練を年2回行うようにしている。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	嚥下困難な人の見守りや、食後は安楽な姿勢をとってもらい急変や事故発生時にそなえ、応急手当や初期対応の周知をしている。	○	救命処置や応急処置方法を定期的に行っていききたい。
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	火災については年2回の防火訓練を行っているが、地震、水害等については行っていない。	○	地域の人々の協力を得られるように働きかけていききたい。避難方法についても日頃から訓練を行っていききたい。
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	家族とお話しをする機会がある時にリスクや対応策を話している。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	バイタルチェックや観察、申し送りを確実に実施するように努め変化があれば主治医、家族へも相談や連絡をし対応をしている。		
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	職員は薬についての理解をし、配薬ミス等がないように服薬確認をしっかりと行っている。		
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	職員は毎日排便チェックを行い、排便リズムを把握し水分補給、食事、体操等、身体を動かすように取り組んでいる。		
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	口の中に食べ物が残りやすい人には、特に声かけや介助にて口腔ケアを行っている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事や水分量をチェックし小まめに水分補給を行い、状態に応じて食事時間や食事量、調理の工夫をし対応している。献立は栄養士が作成し栄養バランスを確保している。	○	主治医に相談しながら栄養低下に注意し、食事・水分量の少ない利用者に対しては一緒に座り、無理強いをしないように摂取して頂いている。
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	マニュアル作成し、日頃から手洗いやうがい、消毒の状態によりマスク着用の呼びかけを行い実施している。	○	家族、主治医と連携し、速やかに対応できるように勉強会で取り上げたい。
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食中毒の予防のために、冷蔵庫内の掃除や消毒を定期的に行っている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	ホームの名前を大きく書いた看板が、表から目立つ所にあり、周囲に花や野菜を皆で植えて、親しみやすく家庭的な雰囲気心がけている。		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節感を取り入れ自宅に近い雰囲気づくりを大切に、花を飾ったり作品の展示を行い楽しんでいる。	○	明るく居心地よく過ごせるように、より配慮をして行きたい。
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	玄関やテラスでの日光浴を楽しんだり、畳のスペースがあり冬はコタツが利用できるようなしたり、リビングや居室で自由に過ごしている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人や家族と相談しながら、居室担当者が一緒に整理し工夫をしている。	○	愛用の机や物等を置いて、落ち着いて安らぎが持てるような環境づくりをしていきたい。
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気の上よみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに換気を行ったり、加湿器や空気清浄機を設置している。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレや廊下に手すりを設け、広めのリビングで安全に自立した生活が送れるように工夫している。	○	浴室脱衣場の手すりや椅子を改善していきたい。
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	一人ひとりを把握し自立への支援をしている。		
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	職員と一緒に菜園作りをしたり、近所を散歩したり、テラス等に手製ベンチを置き日光浴をしている。		

V. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	①ほぼ毎日のように
		②数日に1回程度
		<input type="radio"/> ③たまに
		④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	①大いに増えている
		<input type="radio"/> ②少しずつ増えている
		③あまり増えていない
		④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	①ほぼ全ての職員が
		<input type="radio"/> ②職員の2/3くらいが
		③職員の1/3くらいが
		④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	①ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが
		③利用者の1/3くらいが
		④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	①ほぼ全ての家族等が
		<input type="radio"/> ②家族等の2/3くらいが
		③家族等の1/3くらいが
		④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

施設内の菜園に季節の野菜や花を利用者と共に植えたり、水遣りや収穫、草抜きを行い役割や楽しみを持ち、生き生きと毎日が送れるように支援している。散歩時は、近所の方々の庭に咲いている花等を見せて頂いたり、地区の民生委員さんからもご協力を頂きボランティアによる行事がある時には、手作りのチラシを配布し参加を呼びかけ地域社会との交流に努めている。また、職員はホーム内での各担当を受け持ち課題に対して責任を持って取り組み、チームで連携を図っている。